

令和6年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	16	長野商業 高等学校	定時制 課程	普通 科
----------	----	--------------	-----------	---------

学校教育目標
大事なのは今までのあなたじゃなく、これからのあなた。 個々のペースに応じたカリキュラムを構築し、社会的に自立した人間を育成する。
重点目標
1 基礎学力の定着と、個々の興味・関心・適性等に応じた教育活動の展開 2 単位制教育の特徴である個々のペースで学べるカリキュラムの構築 3 暴力・いじめのない安全・安心な学校作りを推進する。

道徳教育の重点目標
1 単位制という学習システムの中で、自ら学ぶ姿勢を身につけることで、何事に対しても主体的・自律的に行動できるようにする。 2 自己への探究を深め、自分自身の心身・個性を大事にし、自己肯定感を高め自信を持たせる。 3 生命を尊重し、その上で一人ひとりの在り方生き方を尊重する心を育て、学校や社会において皆が安心して生活できるよう高い道徳性と行動力を育成する。 4 学校の諸活動を通して、他者と協力し、多様性を認め合いながら、集団の一員としてよりよい社会の創造に貢献できるよう資質・能力を養う。

目標	キャリア教育	特別活動
単位制の学習システムを通して、自ら考え、行動する態度を養う。 基本的生活習慣を確立することから自己コントロールできる力を身につける。 ↓ 学校での諸活動を通じて自己理解と他者理解を深める。自分の生き方やあり方を模索する中で他者のことも理解し、自他ともに一人の人間として尊重する態度を身につけ、良好な人間関係を構築できる。 ↓ より良い社会を創る担い手としての自覚を持ち、持続可能な社会を目指して、現在の諸課題に主体的・意欲的に取り組む態度を養う。またそのために他者と協調し目標に向かう姿勢を身につける。	「ジョブリサーチ」を一年間学ぶ中で、キャリア意識を高め、社会で必要とされる力を意識して行動できるようにする。 ○キャリアガイダンス ○ソーシャル・スキル・トレーニング ↓ 職業研究を進め、将来を展望し、夢や進路の実現のために具体的な目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 また、よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○就業体験 ○各種職業体験活動 ○商業科目の履修	校内の諸活動や学校行事を通じて、互いの個性や内面を理解し、仲間とともに協力し、良好な人間関係を構築するとともに、自ら行動できる力を育む。 学校での諸活動を通じて自己理解を深め、自己肯定感を育む。 ○学校行事 ○学年行事 ○体育大会 芸術に触れ、文化を理解しながら心豊かな情操を育む。 幅広く見聞を広めながら自然や文化に親しむとともに、他者を思いやる豊かな心を養い、道徳的心情を育む。平和への思いを深める。 集団で行動することにより、規範意識をより高く持ち、自主性・社会性・責任感を養う。 ○芸術鑑賞 ○修学旅行・平和学習 部活動を通じて仲間とともに協力し同じ目的に向かって努力する態度を養うとともに、粘り強く取り組む姿勢を育む。 他者と信頼関係を構築できるよう協働し行動できる力を身につける。 ○部活動 校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○生活体験発表大会 ○平和、人権学習

各教科
国語 作品の鑑賞を通して様々な生き方に触れ、また互いに認め合い学びあう態度を養う。言語感覚を磨き、文化を導び、言葉を通して他者や社会に関わりようとする力を養う。
地理歴史 社会の地域文化、また人類の歴史を学び追究する中で、社会の在り方や人間としての生き方について考える力を育む。
公民 環境問題など地球規模での持続可能な社会づくりにおける配慮や諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育み、社会の有為な形成者としての資質を育成する。
数学 数学的な見方・考え方を知中でわかる楽しさを育み、知的好奇心を育て意欲的に学ぶ態度を養う。また相互の教え合いのなかで相互理解を図る。
理科 自然の事物・現象を学ぶことを通してそれらへの畏敬の念と生命尊重の心、思いやりの心等を育てる。
保健体育 活動を通じて仲間と敬意を払い協働し、公正に取り組む姿勢を養う。最後までやり遂げる粘り強さや、多様な生き方を大切に、健康なライフスタイルを確立する力を養う。
芸術 表現や鑑賞を通して、感性を高め、他者の価値観を尊重する態度を養い、心豊かな生活や社会を創造していく力を育む。
外国語 外国語を通じて多様な文化を理解する力を養い、外国語を用いたコミュニケーションを通して国際社会を担う一員として相互理解を深めていく。
家庭 生活を科学的に見て、また社会の多様性を学ぶ中で、家庭や地域社会の一員として自分のよりよい生き方を考える態度を育成する。
情報 情報化社会で個人が担う役割や責任を大事にし、情報の適切な活用と、適正な活動を行うためのものとなる知識や考え方を身につける。
商業 商業の基礎基本となる知識や技能を学びながら、将来のビジネスパーソンとして活躍できる意欲や協働的に仕事に取り組む態度を育てる。
総合的な探究の時間 先人の事績や生き方を学びから、自己探求を深め自己の望ましい生き方を考える。また社会の課題について主体的に探究的に学ぶ中で、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

家庭・地域との連携	・家庭との連携を密にし、日常生活の中で、生徒が自己・他者ともに尊重する心を育て、より良い社会の構成者としての自覚を高める。 ・各機関と連携しキャリア教育やSSTを進めながら、自己有用感を得ることから自己肯定感を高め、社会の一員として自立していけるよう健康な心身を育む。
------------------	---